

平成23年度 新聞記事等一覧 (12月分)

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)概要	掲載関係者・部局等
1	12月2日	日刊工業新聞	19面 自動走行技術を披露 慶大など モーターショーでデモ	東京農工大学が、東京モーターショーで小型EVの前方に付けたレーザーセンサーで止まっている車の陰から飛び出してきた人を認識し、通常運転から自動運転に切り替えてブレーキとハンドル操作で回避するデモを実施し、このことに関し、同大学のポンサートン准教授がコメント。	工学研究院 ポンサートン・ラクシンチャ ラーンサク 准教授
2	12月5日	日本経済新聞	11面 「発症3時間後も効果」目標 脳梗塞の新薬治験へ 農工大とティムス	東京農工大学と同大学発ベンチャー企業ティムスが、新しい脳梗塞の治療薬の開発に着手したと紹介。	農学研究院 蓮見 恵司 教授
3	12月7日	健康産業新聞	2面 INTERVIEW 学術インタビュー 東京農工大学大学院教授 矢ヶ崎 一三 氏 ルイボスのポリフェノール研究最前線	東京農工大学の矢ヶ崎教授が、ルイボスのポリフェノールについて、質疑応答形式でコメント。	農学研究院 矢ヶ崎 一三 教授
4	12月7日	日経産業新聞	5面 学術情報ネット経由で クラウドメール CTC利用可能	伊藤忠テクノソリューションズが、同社のクラウド型メールサービスについて、国立情報学研究所が運営する「学術情報ネットワーク」経由で利用可能になったと発表し、国立情報学研究所が民間サービスとして初めて承認したもので、東京農工大学が12月から利用すると紹介。	学長 松永 是 学長
5	12月9日	科学新聞	2面 大学と民間企業の連携件数 5.2%増加 1位は東大	東京農工大学が、文部科学省でまとめた平成22年度の大学等における産学連携の実施状況の調査結果で、特許権の実施料収入が1位であると紹介。	
6	12月9日	科学新聞	1面 日本発の研究論文 伸び悩み 得意分野の化学も減少 科学技術力の源泉 危機的状況に 科技政策研調査	科学技術政策研究所が、日本の科学技術力を調べるため、化学、基礎生命科学、材料科学、臨床医学、物理学、環境・地球科学、計算機・数学、工学の8分野について、論文の世界シェアに占める割合を各大学毎に算出し、2006年から2010年で1,000件以上の論文を算出した121大学についてクラスター分析を行い、11に分類し、同時に、1996年から2,000年と2006年から2010年で比較を行った結果、16大学で構成される物理学が比較的強いクラスターでは、5年間での論文生産数(量で4段階)とトップ10%論文の割合(質で3段階)で6グループに分類した場合、東京農工大学は「数」でランクアップしたと紹介。	
7	12月10日	産経新聞	4面 グローバル人材を育成し イノベーション創出をめざす	東京農工大学の松永学長が、同大の「就業力向上に向けた取り組み」、「産学連携」、「今後の展望」について、質疑応答形式でコメント。	学長 松永 是 学長
8	12月11日	広報ふちゅう	6面 官公庁から	東京農工大学市民講座「病気のシグナルを見逃すな！ 飼い主さんができる病気の早期発見、ココがポイント！」の開催案内。	農学研究院 松田 浩珍 教授
9	12月11日	広報ふちゅう	6面 ひろば	東京農工大学の管弦楽団定期演奏会、吹奏楽団定期演奏会の開催案内。	
10	12月12日	毎日新聞	2面 がれき処理難航 住民の苦悩深く 放射能検出 復興の足かせ	東京農工大学瀬戸名誉教授が、福島第一原子力発電所事故に関して、「放射性物質は全国に拡散するのではなく、集中して遮蔽・管理していくべきである」と提言し、その費用負担については、「汚染者負担原則で処理するのが国際ルールである」とコメント。	瀬戸 昌之 名誉教授
11	12月12日	化学工業日報	9面 肌の色味 3次元で解析 花王-東京農工大 光学測定装置を開発	東京農工大学と花王株式会社が、光学測定装置「RGB-OCT」を共同開発したと発表したことを紹介。	
12	12月13日	日刊工業新聞	24面 深層断面 人出不足・高齢化に直面 次世代担う農業ロボ 収穫支援スーツ 履歴・甘さまでチェック	東京農工大学の遠山教授が、収穫支援スーツにカメラやセンサーを付けて作物の生産履歴や甘さ、成分といったきめ細かい情報をインターネット上にアップし、商品の付加価値にしようと考えており、ロボット技術を使った農業のソーシャルネットワーク化を目指していると紹介。	工学研究院 遠山 茂樹 教授

追加記事等一覧 (11月分)

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)概要	掲載関係者・部局等
1	11月11日	健康産業速報	1面 日本ポリフェノール学会 レスベラ研究相次ぐ 評価系に関する発表も	東京農工大学の矢ヶ崎教授が、第5回日本ポリフェノール学会年次大会で、「肝臓移植ラットへピセアタンノールを投与する等の実験の結果、ピセアタンノールは生活習慣病の予防や発症遅延に資することが強く示唆された」との見解を示したと紹介。	農学研究院 矢ヶ崎 一三 教授
2	11月17日	日本水道新聞	3面 JST CREST 革新的水利用の創出へ 溢澤 栄(東京農工大学大学院教授) チーム 連載12回 超節水精密農業技術の開発	東京農工大学農学研究院などの研究チームが、地球規模での水資源危機を迎える中で、世界水利用の7割を占める農業用水の利用効率の格段の改善が課題になっていることから、乾燥地で利用可能な高効率水利用の植物工場システムの設計を目指していると紹介。	農学研究院 溢澤 栄 教授
3	11月24日	朝日新聞	37面 江戸野菜で小金井ラーメン 地元大学生が考案 小松菜使い緑の麺	東京農工大学、法政大学、東京学芸大学の学生らで結成された街おこしサークル「いがねこ」が考案した伝統小松菜を麺に練り込んだ「小金井ラーメン」が、小金井市の店で限定販売されていると紹介。	

No.	掲載年月日	媒体名		記事(番組)表題	記事(番組)概要	掲載関係者・部局等	
4	11月29日	日刊工業新聞	30面	先進企業の集積地 東京・多摩地域 研究開発型企業が先導 豊富な人材を積極活用 偏らない産業構造	東京の西部に位置する多摩地域は、一橋大学、首都大学東京、東京農工大学などの大学や大企業などの研究開発拠点多く、豊かな人材を輩出していると紹介。		
5	11月29日	日刊工業新聞	27面	◆「エリプス」完成記念講座	東京農工大学市民講座「イノベーションを聴く」の開催案内。	工学府長 工学研究院	永井 正夫 教授 亀山 秀雄 教授
6	11月30日	日刊工業新聞	33面	◆農商工連携フォーラム	東京農工大学の濫澤教授が基調講演を行う予定の「農商工連携・地域資源活用フォーラム in なごや」の開催案内。	農学研究院	濫澤 栄 教授
7	11月30日	東京新聞	26面	小金井オリジナル ラーメン味わって 学生集団・店が共同開発 麺にコマツナ練り込む	小金井市内にキャンパスがある法政大学、亜細亜大学、東京農工大学、東京学芸大学の学生等のグループが、地域活性化を考えて、特産の江戸東京野菜コマツナを麺に練り込んだオリジナルラーメンを、新小金井街道い沿の中華料理店で販売していると紹介。		